

2025年度事業実績報告の概要（小規模事業経営支援事業費補助金関係）

団体名： 有松商工会

事業名	事業概要（背景・目的）	事業実績	主たる対象者	事業評価											備考					
				目標①			目標②			得られた効果	A B C D評価					今後の展開・改善点等				
				指標	実績数値	達成率	指標	実績数値	達成率		自己評価	調査結果	満足度	補足		目標①	目標②			
巡回・窓口相談指導事業	経営基盤の弱い小規模零細企業を中心に、商工会職員が事業所へ訪問し、金融相談・税務相談・労務相談等・経営全般について相談指導をし、健全な企業を育成する。また、同時に、課題解決を提案し、事業計画の策定・実施に係る伴走型の指導・助言を行う。	・巡回窓口指導実企業数 巡回指導実企業数 68件（内 非会員 3件） ・窓口指導実企業数 123件（内 非会員 6件） ・巡回窓口指導延件数 395件（内 非会員 23件） ・課題解決提案件数 21件	小規模事業者	指標	巡回窓口指導延件数 (達成度 91.9 %)	指標	課題解決提案件数 (達成度 105.0 %)	事業者ごとの課題を見つけ、解決するための提案をすることにより、小規模事業者の相談相手となり、各種支援及び施策普及を図ることができた。	総合評価	A	自己評価	B	調査結果	A	満足度	補足	目標①	目標②	各事業者の課題を把握し、解決方法の提案に努め、伴走型支援の事業者数の向上を図りたい。	○
記帳継続指導	商工会職員が個人事業主等を対象に、正しい記帳方法と確定申告指導を行うことにより適切な税務申告を促し、経理の自動化や計数管理による経営力の向上に結び付ける。	・指導対象者数 57件 ・指導延日数 587日 ・指導回数 1,005回 ・年3回税理士による講習会を開催	小規模事業者	指標	記帳指導事業者数 (達成度 100.0 %)	指標	(達成度 %)	税理士の指導及び記帳指導員の日頃の記帳指導によって、日々の取引を見える化し、経営の改善につながった。	総合評価	A	自己評価	A	調査結果	A	満足度	補足	目標①	目標②	廃業数が新規委託数を上回る状況であるため、新規委託を強化し、委託数減少の抑止を図る。	
講習会事業	多様化する経営環境に対応するため、小規模事業者にとって必要な金融・税務・経理・労働・情報化等の知識習得や時事的問題についての啓蒙を図り、事業者の資質向上と円滑な事業運営に資することを目的とする。	・集団講習会 年 3回開催 1人 ・個別相談会 年11回開催 58人 計 59人	小規模事業者	指標	講習会開催数 (達成度 100.0 %)	指標	(達成度 %)	事業者の知識向上と税務・金融の問題解決及び解決への方向性が得られた。	総合評価	A	自己評価	B	調査結果	A	満足度	補足	目標①	目標②	現行どおり開催するが、金融、税務、労働、情報化等が加速的に変化しているため、改正等も踏まえた内容にし、参加人数を維持しつつ、周知をし、増加を図る。	○
地域振興祭事業	桶狭間古戦場まつり等の各種祭典を開催し、その集客力を活かして地域の経済活動を促進し、地域産業のPRの機会を増やすとともに総合的な振興を図ることを目的とする。	・5月桶狭間古戦場まつり（大池周辺） 出店者数：4社 （宿場名物市） 出店者数：6社 ・11月 サムライ・ニンジャフェスティバル2025 出店者数：11社	小規模事業者	指標	出店参加企業数（延べ） (達成度 105.0 %)	指標	(達成度 %)	各イベントの集客が活かせられ、参加事業所の売上向上とイメージアップが図られた。	総合評価	A	自己評価	A	調査結果	B	満足度	補足	目標①	目標②	各まつりにおいて、ブースの関係を配慮しながら、業種が重ならないよう努め、出店事業所を確保していきたい。	
商店街振興事業	消費者の生活形態の変化・郊外型大型店への購買力流出等、地元中小事業者が抱える様々な経営課題解決に向け、地域活性化・集客力向上につながる魅力あるイベント事業を実施し、地元事業者の育成、地域の賑わい、消費喚起を図ることを目的とする。	・4月 なごや商業フェスタの開催 参加企業数 9社 ・5月～3月 商店街人材育成「あきない塾21」の参加 参加企業数 1社 ・11月～1月 プレミアム商品券事業 参加企業数 18社 ・随時 なごや未来っ子応援制度（子育て支援）事業参加 参加2回	中小事業者（小規模事業者にとって事業のPRに役立つ）	指標	参加企業数（延べ） (達成度 87.5 %)	指標	(達成度 %)	「あきない塾21」は事業者の知識向上が図られた。なごや商業フェスタ、プレミアム商品券事業で地域の消費喚起が図られた。	総合評価	B	自己評価	B	調査結果	B	満足度	補足	目標①	目標②	販売促進等の商業振興事業は、参加店にとって意義であるが、高齢化や後継者不在による廃業数が増加している。現状を維持しながら新規募集を図り、商店街の人材育成に重点をおきたい。	
情報化推進事業	HPの更新を頻繁にすることにより、会員事業者に有益で新しい経営情報を取得させ、会員紹介コーナーのリンクをビジネスチャンスの窓口としたい。又、地域の紹介をすることで来町者を増やし、地域の活性化につなげることを目的とする。	「商工会事業・各種施策紹介」へのリンク。金融・労務・税務関連」の行政HPへのリンクや会員向けの情報等 会員事業所紹介 2事業所 合計 17回更新	小規模事業者・HPIに訪れる一般の方々	指標	HP更新回数 (達成度 141.7 %)	指標	会員事業所情報公開企業数 (達成度 66.7 %)	小規模事業者の知識習得につながった。また来訪者の増加によりビジネスチャンスの増加も図られた。国や県の施策の利用促進にもつながった。	総合評価	A	自己評価	A	調査結果	B	満足度	補足	目標①	目標②	会員紹介コーナーの充実と商工業者にとって必要かつ有益な最新の情報を迅速に更新することに努めていきたい。	
会員研修事業	先進地を視察し、各事業所のビジネスチャンスを創造し、地域の商工業の発展に寄与することを目的とする。	会員交流事業 16事業所 30名参加 ビジネス交流会 in TOYOAKE 3事業所 3名参加	小規模事業者	指標	参加事業者数（延べ） (達成度 82.5 %)	指標	(達成度 %)	交流の場を通じ、各事業所の経営基盤の強化や情報の収集が図られ、ビジネスチャンスとなった。	総合評価	A	自己評価	B	調査結果	A	満足度	補足	目標①	目標②	実施時期等を検討し、参加者のビジネスに係る知識向上のため、先進地を選定し、参加者の増強を図る。また、ビジネス交流会によりPR機会の創出を図る。	

2025年度事業実績報告の概要（小規模事業経営支援事業費補助金関係）

団体名： 有松商工会

事業名	事業概要（背景・目的）	事業実績	主たる対象者	事業評価												備考		
				目標①			目標②			得られた効果	A B C D評価				今後の展開・改善点等			
福利厚生事業	中小企業・小規模企業の経営・雇用の持続的な安定を図るために、各種共済制度の普及や企業の健全な育成に資することを目的とする。	中小企業共済加入件数 42件 + 1件 - 3件 =40件 (維持加入) (新規) (脱退) 中小企業共済一手続き 合計 5件 小規模企業共済加入件数 75件 - 2件=73件 (維持加入) (脱退) 小規模企業共済一手続き 合計 12件 火災共済一手続き 合計 10件	中小・小規模事業者	目標① 中小企業共済加入件数 (達成度 88.9 %)			目標② 小規模企業共済加入件数 (達成度 94.8 %)			各種共済の手続きにより、経営安定化の一助となった。	総合評価 A	事業実施評価 A	自己評価	満足度	補足	目標①	目標②	高齢化や廃業数の増加により解約が増加する見込みである。必要性を認めてはいるが、経費削減的になりやすい。減少を止めることを重点にして、定期的に共済担当者へ加入勧奨をすることにより、現状維持を目指す。
				目標数値	実績数値	40	目標数値	実績数値	73				B	A	必要性	下げる	下げる	
労働保険	事業主の委託を受け、事業主に代わって労働保険料の申告納付・労働保険に関する各種届出作成等の事務手続きを行うことにより、事業主の事務処理の負担を軽減し、労働保険の適用促進及び労働保険料の適正な徴収を図る。	4月21日～5月2日 委託事業所数 -41件 年度更新指導会 -30件 新規委託 -1件 労働保険関連出張：20回	小規模事業者を中心とする事務委託を受けている全事業所	目標① 委託事業者数 (達成度 93.2 %)			目標② (達成度 %)			委託事業場の給付金請求等の事務処理にかかる負担を軽減させ、労災・雇用保険の加入勧奨、法改正の周知により、労働雇用環境の整備がなされた。	総合評価 A	事業実施評価 A	自己評価	満足度	補足	目標①	目標②	委託事業所数の現状維持に努め、厚生労働省の労働保険適用推進月間に合わせ、未加入事業所への加入勧奨を行いたい。
				目標数値	実績数値	41	目標数値	実績数値					B	A	必要性	下げる	下げる	
税務関係団体指導事業	青色申告会・法人会等の活動を支援し、事業運営に協力することにより、地域への貢献・発展を図り商工業の活性化に資する。	税務指導会-5回開催 延べ27名参加 税務連絡協議会-5月20日 総会 11名参加 定例会2回開催 延べ21名参加	小規模事業者を中心とする青色申告者及び法人企業	目標① 各団体が行う事業の参加者数(延べ) (達成度 73.8 %)			目標② (達成度 %)			税務支援団体との連携により、税務に対する信頼性が向上した。	総合評価 B	事業実施評価 B	自己評価	満足度	補足	目標①	目標②	各関係団体との連携を強化し、税務関連事業を円滑に推進したい。
				目標数値	実績数値	59	目標数値	実績数値					B	B	必要性	下げる	下げる	
産業団体等指導	名古屋市内3商工会（鳴海・有松・守山）が連合協力して、事業承継・後継者育成事業を実施する。また、名古屋市内への陳情・意見具申等を行い、名古屋商工会議所との連携事業として福祉の増進に資することにより、商工業の活性化に資することを目的とする。	6月18日 名古屋商工連合会 総会・意見交換会 商工会 2名参加 市幹部 2名参加 11月28日 名古屋経済局へ商工業振興に対する支援体制拡充について要望書提出 商工会 2名参加 市幹部 2名参加 9月16日、11月14日 名古屋商工連合会 事業承継後継者育成セミナー 2回開催 1名参加 12月11日 施設児童に対するクリスマス プレゼント事業 市関係者 4名参加 商工会議所 1名参加 商工会 2名参加 専門家個別相談会 6回開催 10名参加	行政関係者・小規模事業者	目標① 参加人数(延べ) (達成度 65.0 %)			目標② (達成度 %)			要望活動により、商工業振興に対する支援が確保された。また、事業承継・後継者育成セミナーや専門家個別相談会により事業者が抱える課題に対して具体的な解決策を提案できた。	総合評価 B	事業実施評価 B	自己評価	満足度	補足	目標①	目標②	市当局担当職員との意見交換会を開催し、連携を図る。また、事業承継・後継者育成事業を実施する。
				目標数値	実績数値	26	目標数値	実績数値					B	B	必要性	下げる	下げる	
				目標数値	実績数値		目標数値	実績数値				C	A		現行どおり			

※ 経営発達支援事業として認定を受けた事業については、備考欄に○を付しています。
 ※ 事業評価欄において、1つの事業で目標が2つある場合、目標達成度の評価は2つの平均となります。
 ※ 記載内容についての詳細資料は、各団体において整備しています。